

# 武蔵野東小学校

## 2019 年度 学校自己点検・評価

平成 14 年 4 月に施行された小学校設置基準等で、学校評価の実施とその結果の公表が努力義務化されて以来、本校では平成 15 年度より、自己点検評価票を作成しております。そして、平成 19 年度からは、本校の教育方針・目標・重点とその評価を「自己点検評価票」としてまとめ、ホームページにて公表することにいたしました。本校の現状をご理解いただく参考となれば幸いです。尚、本校はこの自己点検評価を基に、改善・改革に取り組み、より良い教育活動を行うよう努めております。

教育目標	正しく(正しい知識と正しい行動)、強く(強い体と根気のよい心)、美しく(まことの友愛)を校訓と定め、体力づくりと体験学習を基盤にした知・徳・体の学習により、視野の広い、豊かな感性とたくましい生活力を持つ児童を育成する。
教育の特色	①混合教育 健常児と自閉児が共に学ぶ生活の中から、「思いやり」「やさしさ」「助け合い」など人間愛の教育、心の教育を目指す。  ②小中一貫教育 小中一貫を基本とした学習を通して、基礎学習力・基礎学力を養い、発展的な学習にも取り組ませる。  ③多彩な教育 それぞれが個性と能力を発揮できるよう多彩な教育と体験を積み上げ、一人ひとりの可能性をじっくり、大きく伸ばしていく。

I 教育の目標と重点	取り組みとその評価
2019 年度の重点項目	「学び方を広げる～メディアの活用～」 「情報を共有して活用する力を高める」

<p>具体的な取り組み</p>	<p>「学び方を広げる～メディアの活用～」  インターネットを使った調べ学習  視覚的な情報も活用しながら、まとめる・発表する・グループ学習をする  スピーチ力の向上  他者の考えを受け入れる力の向上  コミュニケーション力の向上  教科以外の活動への活用</p> <p>「情報を共有して活用する力を高める」  インターネットを使つての検索  視覚教材の幅を広げ、興味・関心を引き出す  行事、体験学習の興味づけや事前事後学習に活用する  電子黒板、タブレットの簡単な操作を学ぶ</p>
<p>成果と達成度</p>	<p>AB クラス</p> <p>1・2 年生では、植物の生長の様子をカメラアプリで記録し、よりわかりやすい観察記録を作成したり、描画アプリを活用したショウ&amp;テルによるスピーチを行ったりすることができた。3 年生以上では、学習支援システム「コラボノート」による意見の共有を図ったり、Keynote (iOS アプリ)を活用したプレゼンテーションや、係活動の伝達を行ったりすることができた。12 月に行った全校スピーチコンテストにおいても、全校児童一人ひとりがタブレットを使用し、カメラアプリや Keynote (iOS アプリ)を活用してスピーチを行うことができた。3・4・5 年生においては、タブレットを活用し、「英検 Jr.オンライン版」に取り組み、英語力の強化につなげることができた。また、学校支援システム「みらいスクールステーション」を活用し、朝や帰りの会での歌・音読・英語の読み聞かせを行ったり、校内 Live 放送による友愛会部会報告を行ったりすることができた。</p> <p>さらに、プログラミング学習として、アルゴリズムを基本としたアンプラグドプログラミングや、iOS アプリを使用したビジュアルプログラミング、実際にロボットなどを操作してプログラミング作りを体験するフィジカルプログラミングに取り組み、論理的思考力を育むことができた。</p> <p>子どもたち自身がタブレットや電子黒板等を中心としたメディア機器の使い方を学び、目的に合わせて活用していくことで、興味・関心を持ち、自ら学ぶ意識を高めることができた。</p> <p>今後は、タブレットの一人一台の活用をさらに積極的に取り入れることを目指し、ICT 環境や、学習・活動への取り組み方を考え、準備を進めていく。</p>

	<p>CDE クラス</p> <p>授業では豊富で鮮やかな画像、映像が電子黒板上で提示できるので児童の目を引き、集中し楽しく学習する様子がうかがえた。また iPad を通してのアプリの活用も少しずつ進み数字、文字パズル、お金、時計、作図、一人書きなど、iPad のタッチパネルで指を使い児童が意欲的に学習に取り組んだ。一斉授業でも全員が iPad を使う試みが始まり文字入力から、発表など皆が情報を共有できた。盆踊り大会や発表会、劇などの行事、また楽器の演奏などでもメディアを活用し教室に居ながらにして多くのことを繰り返し練習し習得していく習慣がついた。</p> <p>重点 2 年目で児童たちはメディアの活用に慣れ電子黒板や iPad を通しての学習が当たり前になり、一人ひとり楽しんでいく様子がうかがえた。</p> <p>今後もメディアを活用した教育環境をさらに充実させていきたい。</p>
教員・児童・保護者への浸透度	教員、児童ともに日々の教育活動の中で積極的に推進し浸透している。保護者へは保護者会やホームページにて取り組みを紹介。
<b>II 教育環境</b>	
校舎・設備等の質的・量的整備状況	<p>点検・補修・改善・管理を定期的計画的に行えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西館 2 階教室の空調機更新</li> <li>・西館 2 階教室(1AB 4A～E)仕切、天井改修</li> <li>・ブルー階段壁補修</li> <li>・セフティバイオクッションの設置 (鉄棒、雲梯、登り棒、ジャングルジム)</li> <li>・万年塀の修繕 ・校庭防球ネット取り付け</li> </ul>
教育機器の適切性と充実度	・iPad や電子黒板を使った指導の研究を進めた。
<b>III 教育課程</b>	
カリキュラムの特色化と適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知・徳・体、バランスのとれたカリキュラムを編成している。</li> <li>・専科制を取り入れている。</li> </ul>
教育システム全体の工夫と充実度	<p>共有サーバーによるデータ管理の充実、教務ソフトによる出席簿や成績票の作成</p> <p>みらいスクールステーションの活用</p>
行事活動	<p>各行事の内容について吟味し、より充実させた。特に武蔵野東幼稚園年長児が小学校で過ごす日については全校児童で受け入れる形にして、園児がより楽しめるようにした。</p> <p>5 年生有志が幼稚園運動会でお手伝いをした。</p>

校外教育活動	・宿泊学習実施 (ゆずり原・チロル学園・河口湖・山中湖・菅平・沖縄)
<b>IV 教科指導</b>	
指導計画と教員配置	各教科年間指導計画が立てられ、適切な教員配置の中、授業数も確保された。
習熟度別授業	CDE 組は、各学年で「国語」・「算数」の授業時に 3 つのグループに分かれ実施。
個に即した授業	放課後補習を実施。
資格取得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検 2 級 2 名、準 2 級 3 名、3 級 10 名、4 級 29 名、5 級 44 名</li> <li>・漢字検定 準 2 級 2 名、3 級 4 名、4 級 8 名、5 級 58 名、6 級 59 名、 7 級 62 名、8 級 74 名、9 級 54 名、10 級 73 名</li> <li>・珠算検定 2 級 2 名、4 級 2 名、5 級 1 名、7 級 5 名、8 級 8 名、 9 級 12 名、10 級 11 名</li> <li>・英検ジュニア(受験者数) ゴールド 24 名、シルバー 41 名、ブロンズ 47 名</li> </ul>
<b>V 児童の活動</b>	
友愛会(児童会)活動の充実	役員会、体育部会、音楽部会、学校美化部会、保健部会、放送部会、新聞部会、図書部会、理科部会、ボランティア部会で組織し実施。
部活動	サッカー部、器械体操部、剣道部、ダンス部、吹奏楽部に 3 年生以上が入部(任意)でき、週 2 日放課後活動している。その他にひがしっ子合唱団や YOSAKOI 同好会、エコクラブや中学校陸上部顧問の指導によるアスリートクラブ(陸上)があり、部活動と掛け持ちができるようになっている。どの部活動も対外試合や演奏会など積極的に参加できた。
<b>VI 進学指導</b>	
進学学習の充実	1～4 年生 AB 組は、必要に応じて放課後に補習が行われ、5. 6 年生 AB 組は進学学習(希望制)を行い、基礎学力を養い、発展的な学習にも取り組めた。
進学状況	武蔵野東中学校 53 名(AB 組 29 名、CDE 組 24 名)・他私立 33 名(AB 組 30 名、CDE 組 3 名)・国立 1 名(AB 組 1 名)・都立 5 名(AB 組 3 名、CDE 組 2 名)・公立 5(AB 組 4 名、CDE 組 1 名)

<b>VII 研修</b>	
内部研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初教職員研修会(学園・各園校)実施・教職員学園研修会(年間6回)実施・学園教科研究部会、小学校教科研究部会実施</li> </ul>
外部研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京私立初等学校協会研修会参加</li> <li>・日本私立小学校連合会研修会参加</li> </ul>
<b>VIII その他の教育活動と公開性</b>	
保護者の協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回土曜日自由登校を「JoyDay」と称して保護者による企画・運営のイベントを実施</li> <li>・東っ子商店部、模擬店、ビンゴ部に分かれて、子どもを楽しませてくれた。</li> <li>・CDE組保護者「むらさき会」による懇親会を実施</li> </ul>
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆おどりや学園祭模擬店に地域の商店出店</li> </ul>
e パル(学童)利用状況	AB組 6,218名 CDE組 1,819名 合計 8,224名
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB上にて毎日ホームページを更新</li> </ul>
<b>IX 安全・危機管理</b>	
緊急時対応	行政とも連携し、マニュアルに沿って年3回訓練された。武蔵野市の防災無線定期訓練に参加した。
防犯・防災チェック態勢	教職員による校務「防犯・防災部」を設置し、教職員防犯訓練やAED講習など実施。また施設設備の安全点検を定期的に行う中で危険箇所の早期発見早期対応に努めた。
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルや規定に則って行う。</li> <li>・PCウイルス対策ソフトインストール</li> </ul>
<b>X 保健・衛生</b>	
児童及び教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に健康診断実施。</li> <li>・身体測定年3回実施。</li> <li>・年度当初に職員検診実施。(検診結果を教職員に配布し、産業医による再診実施)</li> <li>・産業医による衛生委員会を年8回実施し、教職員の健康管理に努めた。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染を防ぐために、3月は臨時休校とした。</li> </ul>

## 2020 年度の取り組み

2020 年度から新学習指導要領が施行される。今回の改定のポイントの一つである「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、日々の学習でしっかりと知識を定着させ、さまざまな学習活動を重ね、ICT 教育環境の中で学習指導を展開していく 3 年目となる。

教育の重点は、AB クラスは「学び方を広げる～メディアの活用～」で、3 年目のまとめとなる。CDE クラスは新しい重点として「自立に向けた生活習慣教育」を掲げて、日常生活のルールとマナーに焦点をあてていく。